

# 令和元年度L P ガスタンクローリ保安対策事業計画書

L P ガスタンクローリ事故防止委員会

## 1 . 事業の目的

全国の石油精製工場、輸入基地及び中継基地等のL P ガス積込事業所に入構するすべてのL P ガスタンクローリについて保安関係機材等の整備状態に関して自主点検を実施することによりL P ガスタンクローリ所有者（以下「所有者」という。）、タンクローリ運転者（移動監視者）の保安啓蒙を推進し、もってL P ガスタンクローリの運行中の事故を未然に防止し、公共の安全を確保することを目的とする。

## 2 . 実施期間

令和元年8月1日から令和元年9月15日まで

ただし、整備不良のL P ガスタンクローリは令和元年10月15日までに整備を行い、基地においてその整備の確認を受けるものとする。

## 3 . L P ガスタンクローリ事故防止委員会の組織

L P ガス関係団体（日本L P ガス協会、一般社団法人全国L P ガス協会、一般社団法人日本エルピーガスプラント協会）、公益社団法人全日本トラック協会及びL P ガス輸送業者並びに高圧ガス保安協会がL P ガスタンクローリ事故防止委員会（事務局：高圧ガス保安協会）を組織し、事業計画の策定、事業の推進及び事務処理にあたる。

## 4 . 対 象

全国で稼働中のすべてのL P ガスタンクローリ

## 5 . 実施要領

原則として、所有者自らが実施した自主点検結果を全国の石油精製工場、輸入基地及び中継基地等のL P ガスタンクローリへのL P ガス積込事業所（以下「点検結果確認基地」という。）並びにL P ガスタンクローリ検査会社（以下「点検結果確認基地等」という。L P ガスタンクローリ点検要領(以下「点検要領」という。)②資料8別紙参照。)において確認する。

なお、所有者自らが自主点検を実施することができない場合には、L P ガスタンクローリ検査会社(点検要領別表1参照。)において点検を受けることができる。その結果を点検結果確認基地等において確認するものとする。

## (1) 準備

- ① 所有者に対して本事業の趣意書、事業計画書、点検要領等を送付する。
- ② 点検結果確認基地に対して本事業の趣意書、事業計画書、点検要領等を送付する。
- ③ LPガスタンクローリ検査会社(以下「検査会社」という。)に対して本事業の趣意書、事業計画書、点検要領等を送付する。

事業の円滑な実施と成果の充実を期するため、関係行政庁にその指導を依頼するとともに全国の関係団体にその協力方を依頼する。

## (2) 点検・確認方法

- ④ 所有者は、本委員会の送付した点検要領に基づき自主点検を行い、点検要領に付属の「令和元年度LPガスタンクローリ点検票」(以下「点検票」という。)に点検結果等を記入する。(ただし、所有者自らで、自主点検を実施することが出来ない場合には、検査会社において点検を受け(検査費用は実費)、点検票に点検結果を記入してもらう。)
- ⑤ 所有者は、点検票を点検結果確認基地等に提出し、自主点検の結果を確認してもらう。尚、点検票の写しを自ら保管する(1年間)。
- ⑥ 点検結果確認基地等は、点検票を元にLPガスタンクローリの整備状況を目視等により確認し、自主点検の結果が良好であることを確認した場合には、整備済を示すステッカーをLPガスタンクローリに貼付し、点検票の原紙を受理する。
- ⑦ 確認の結果、整備不良が発見された場合には、点検結果確認基地等は、ステッカーを貼付することなく、「令和元年度LPガスタンクローリ整備確認票」(以下「確認票」という。)を作成し、所有者に交付するとともに点検票を返却する。
- ⑧ ⑦により確認票を交付された所有者は、速やかに整備不良と指摘された点検項目の整備を行い、次回入構する点検結果確認基地等に点検票及び確認票を提出し、当該項目について整備の確認を受ける。
- ⑨ ⑧により確認票に整備不良と記載された項目の全てについて整備の完了を確認した点検結果確認基地等は、ステッカーをLPガスタンクローリに貼付し、点検票の受理及び確認票の回収を行う。

以上の点検～結果の確認は令和元年8月1日から令和元年9月15日までに行う。ただし、⑦により整備不良を指摘され、当該箇所を整備の上その確認を受けるべきものにあつては令和元年10月15日までに行う。

- ⑩ 点検結果確認基地等は、事業終了後に別添の令和元年度点検結果確認報告書に必要事項を記入し、受理した点検票及び回収した確認票全てを添付の上、令和元年11月30日までに本委員会(事務局)宛に送付する。

※【実施要領】 参照

## 6. 特例措置について

- (1) 事業実施期間中（令和元年8月1日から令和元年9月15日まで）に休車、修理中、乗せ替え又はやむを得ない事情により点検確認を受けられなかったLPガスタンクローリについては次のとおりとする。
- (ア) LPガスタンクローリ検査会社において令和元年9月16日から令和元年11月15日までに点検結果の確認を受けるものとする。なお、この場合の検査会社による点検結果の確認は無料で行う。また、この期間は点検結果確認基地においては点検確認を受けることはできない。
- (イ) 初回の点検確認において点検項目の何れかについて整備不良を指摘され、当該項目の整備に日数を要し、令和元年10月15日までに点検結果確認基地等において当該項目の整備の確認を受けられなかったLPガスタンクローリについては①による。
- (2) 事業実施期間終了後（令和元年9月16日以降）初めてLPガスの充てんを開始する新容器については、点検の対象外とする。
- (3) 事業実施期間中に容器再検査を受けるLPガスタンクローリについては、自主点検結果を記入した点検票を持参し、容器再検査を受ける再検査所において、再検査と同時に点検確認を受けることができる。合格した場合は、ステッカーを貼付する。

## 7. 事業経費

3. による委員会組織団体の分担金による。

以 上

